

# ながさきエコスクール通信 第4号



発行：長崎市環境政策課（TEL：829-1156）

発行月：平成30年3月

平成28年度、市内全小中学校が認定された「ながさきエコスクール」ですが、平成29年度は次の学校を訪問させていただきました。どの学校も地域の方々のご協力とご指導を仰ぎながらそれぞれの特色を活かし、環境行動に取り組まれています。

今後も、引き続き長崎市職員が学校へ出向いて取材を行い、「ながさきエコスクール通信」で全参加校の取り組みをご紹介させていただく予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

## 戸石小学校

本校は、毎年11月頃、近隣の橘中学校と合同で、地域清掃を実施し、歩道などに落ちたごみを拾っています。

また、環境委員会が中心となって、児童が家庭から持ち寄ったペットボトルキャップの仕分けを行ったり、校内のごみを集めて回るなどの取組を行ったりしています。



## 大浦小学校

本校は、太陽光発電パネル等の設備のある比較的新しい校舎ですが、観察池がないという悩みを抱えていました。そこで、平成29年度は据え置き型の観察池を設置し、めだかやヌマエビ、カワニナなどの水生生物の飼育を始めました。

今後は、長崎の自然に近い生き物を加えて、児童が自然とふれあえる憩いの場として、整備していきたいと考えています。



## 桜が丘小学校

本校では、「桜吹雪大作戦」として学校周辺の地域清掃を行っており、毎日6年生がほぼ全員参加しています。毎朝の掃除のおかげで、秋にはイチョウの葉が落ちてくる学校周辺も、綺麗な状態を保っています。

また、牛乳パックやペットボトルキャップの回収を行ったり、美化委員会が電気や水の使用状況を見回り、その結果を校内放送で報告する取組みを行っています。



## 川原小学校

本校では、年に2回ほど近くの川原海岸の清掃活動を行っています。浜に打ち上げられた漂着ごみを、児童全員がひとつひとつ拾い、きれいな海岸が戻ってきました。

また、4年生はホタルの幼虫の飼育を行っており、ホタルの飛翔する宮崎川への放流を行っています。児童は餌となるカワ二十などを与え、自分の飼育ケースの幼虫を大切に育てています。



## 長浦小学校

本校は、校内・家庭で出た牛乳パックやペットボトルキャップの回収を行い、資源のリサイクルに取り組んでいます。

平成29年度は、ペットボトルキャップの回収に取り組む市内の小中学校のうち、一人あたりの回収量が第2位の2.295kg/人だったとして、長崎市から表彰を受けました。



## 片淵中学校

本校では、生徒会が中心となって、ペットボトルキャップやフィルタズの回収、ごみの分別徹底に取り組むほか、朝からクラス単位で校外の清掃活動を行っています。

また、3年生の総合学習の一環として、地元自治会と協働で、地域清掃を行うなどの活動も行っています。



## 山里中学校

原爆落下中心地から程近い本校では、1年生の総合学習の一環として、平和公園等の被爆遺構の清掃を行っています。

また、平和部が中心となって、各家庭から持ち寄った空き缶を回収し、換金後、車椅子を施設等に寄付する活動を行っており、平成29年度は、この活動の功績が認められ、アルミ缶リサイクル協会から全国62校のうちの1校として表彰を受けました。



## 南山中学校

本校では、主に生徒会が中心となってペットボトルキャップの回収等の環境活動に取り組むほか、週番活動として地域清掃も行っています。

また、校内行事である長距離ウォーク「3Tウォーク」の際には、ごみを拾いながら歩くことで、街の美化にも取り組んでいます。

授業の中では、技術の時間に校内にある畑で野菜づくり等を行っており、これを通じて生徒の自然とのふれあいを図っています。



## ～各学校における エコスクールの流れ～

